



オ リ ー フ 通 信

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。

ローマの信徒への手紙 1 2章 1 5節

神愛保育園

「2月になりました」

早いもので、2024年もあっという間に一か月が経ちました。先月は新年スタートの日から大きなニュースがあり、残念ながら未だに元の生活に戻れていない方々も多くいます。先日、ひまわり組の礼拝の中でそのことについて話をしました。そして、困っている人や悲しい思いをしている人たちのために今日は祈りましょうと伝えと、いつもはお祈りの時でも少しざわざわとしている子どもたちですが、その日はみんな目をつむり、じっと祈る姿がありました。連日のニュースで心に残っていたこともあるかもしれませんが、相手を思うことや、気にかける(考える)心が育っていると感じました。個の主張や強い意見が優先されがちな世の中ですが、自分がいて相手もいること、尊重すること・協力することを知る人であって欲しいと心から願っています。

さて、1月29日に幼児クラスのクラス移動があり、今はちゅうりっぷ組と年中さんがひまわり組の部屋で一緒に過ごし、ちゅうりっぷ組の部屋では年長さんだけで過ごしています。年長さんの就学に向けての取り組みではありますが、部屋を移るちゅうりっぷ組さんにとっても、とても楽しみなことだったようです。クラス移動前に、ちゅうりっぷ組に入った時のこと。「〇〇ちゃん(自分)たちは、もうすぐひまわりさんなんだよ」と話しかけてきてくれたので「楽しみ？」と聞くと「うん、だってエンピツつかえるんだもん！」と嬉しそうに教えてくれました。すると、その会話を聞いていた他の子どもたちもやって来て「ぼくはちいさいレゴがたのしみなんだ」など、次々に楽しみにしていることを話してくれ、最後には「はやくひまわりさんにいきたいなー」とみんなで笑いあっていました。子どもたちにとって、新しい生活を楽しみにするとともに、大きくなった自分も実感し嬉しく思っていることが伝わってきました。そして、年長さんはいよいよ就学に向けた生活のスタートです。新しい生活への不安を持つこともあるかもしれませんが、今まで重ねた経験を自信に変えて、また友だちにも力をもらいながら、これから先の自分を楽しみに、毎日を過ごしていって欲しいと思っています。

神愛保育園 主任 三上真紀

🌱 1月25日(木)に父母会観劇会がありました。劇団風の子さんが来て下さり、『いろはにこんぺいとう』という演目を行って下さいました。風の子さんたちの面白い動きに、始めから終わりまで子どもたちは大笑いの楽しい時間になりました。ありがとうございました。



観劇会の様子です

保健だより 2024年 2月



1月は昼間でも10度に届かない日もあり、低温が続きました。2月は一年の中で最も寒くなる時期で、寒さ対策が必要となります。12月上旬からのインフルエンザ流行は全国的にまた地域でも続いています。園内ではインフルエンザB型のお子さんがいました。1月は今のところ流行の兆しはありません。園では胃腸症状でお休みされるお子さんがいましたが、感染の拡がりはありませんでした。胃腸炎についても、環境面など気を配っていきます。

毎月の計測

園では、幼児は月の上旬に、乳児は中旬から下旬に身長・体重測定をしています。**身体発育の記録**という黄色の冊子に測定値を記入し、ご家庭に配布しています。お子さんの成長を確認していただき、折れ線グラフの記入をお願いします。記入後、クラス担任まで返却して下さい。



(お子さんの大切な記録なので毎月の返却を忘れずをお願いいたします。)

真冬の水分補給

低温と乾燥が続く真冬、体感以上に身体は乾燥・水分不足になっています。汗をあまりかかない冬は水分を失っている自覚が少なく、水分補給の機会が減ることで脱水を引き起こす可能性があります。時間を決めて水分補給をするようにしましょう。また食事での水分補給は大切なので、欠食は避けましょう。

胃腸症状や高熱の際、一番心配なのは脱水症状です。唇や口内の渇きや皮膚の乾燥が目安となります。また尿量が減る症状がみられたら、受診の際、医師にお伝えください。

【インフルエンザと新型コロナウイルス感染症】

12月に始まったインフルエンザの流行は全国的にも地域でも続いています。園医のクリニックでも、A型インフルエンザに2回かかる患者さんが増えているとの情報を頂きました。また、新型コロナウイルス感染症が12月下旬より緩やかではありますが、全国的にまた地域でも流行しています。この二つの疾患は、急な発熱から始まる事が多いため、区別が付きにくいです。発熱の際には、受診をお願いいたします。インフルエンザは発症から48時間以内は、お薬があり有効です。新型コロナウイルス感染症は特效薬が未だないため、対症療法となります。この二つの疾患は、**発症日から5日間・なおかつ解熱してから3日間の間お休みとなります。**

登園の際には、意見書が必要となるので、ご注意ください。



食事だより



あっという間に豆まきの季節になりました。外から帰ってきたら手洗い・うがいを忘れずに、あったかいお料理で体を温めて、元気に冬を乗り越えていきましょう。

子どもたちと楽しむ節分の食事

2月2日は、節分にちなんでイワシと大豆を使ったメニューを取り入れます。

【大豆について】

大豆は「畑の肉」と呼ばれるほどたんぱく質に富んでいます。加工品によって栄養価は異なりますが、不足しがちなカルシウムや鉄分、ビタミンB1や食物繊維も多く含みます。また、イソフラボンには骨の健康を保つ効果があるほか、サポニンやレシチンなど血液をサラサラにする成分も含まれています。

私の好きなメニュー【その⑩】

※職員の好きな食事のメニューを聞きました！

☆ 橋本めぐみ(保育士) 神愛歴 7年

【納豆サラダ】納豆が大好きで、初めて食べたときは美味しくてほっぺたが落ちそうでした。家でも作ろうと思い、作り方を聞き作ってみたのですが同じ味にならず…やっぱり保育園で食べる納豆サラダが美味しいです♡

【イモカツ】”イモカツ”の文字を初めて見た時は、なんだろう？と思っていたのですが、食べてみたらすごく美味しい!!今ではイモカツの日は、朝からお昼はまだかな～とソワソワしています♡

☆2・3月は年長のリクエストメニューを取り入れています。写真を掲示しますので、是非ご覧ください



ひだまり

～地域の親子と園児の交流～



暦の上ではまもなく立春を迎えますが、まだまだ寒い日が続きそうですね。

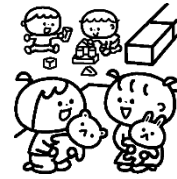
1月に、深川北子ども家庭支援センターと共催で『凧あげ』を行いました。この日は程よく風も吹き、とても心地良いお天気で30組近くの親子が参加をしてくれました。折り紙で作った凧とポリ袋で作った凧を準備し、凧を持って公園内を一生懸命に走る姿をたくさん見る事が出来ました。今後もみずべと共催でのプログラムを考えていきたいと思っています。



1月末には、保育園にも来ていただいている“おおちゃん”（大森先生）を招き、ひだまりで「おはなし会」を企画しました。参加型にして頂き、子どもやお母さんたちからも歓声上がるほど、とても楽しんでいた様子でした。ティッシュの空き箱で出来た動物たちや、バンダナ1つでたくさん遊べる方法があり、私たち職員もとても学びになったおはなし会でした。



ともにそだつ



私たちは、保護者の皆さんと共に子育てをしています。
園の中での子どもの様子を伝え、子どもの育ちを共に考え、
喜びを共有したいと願いながら、この保育日誌紹介のコーナーを
設けています。ともに子どもから学んでいきましょう。

2024年 1月19日（金） 天気 くもりのち晴れ たんぽぽ組（1歳児）

「そのけ、そのけ〇〇様を通る」

週末で子どもたち全体的に疲れている姿が見られたので今日は、室内、テラスで過ごした。Aは今週疲れもありイライラしている姿があった。そのため、先にコンビカーに乗るためにBとテラスに出た。Bが三輪車、Aはコンビカーに乗って遊んでいた。ここでAはBを怖いと思うのか、「やめて！」と手をだされて怒られたりしないように）配慮しながら、ぶつかることもなくトラブルなく遊んでいた。（穏やかで優しい）Cが次にテラスに出て三輪車に乗るとAは、わざと後ろからコンビカーで追突する。保育者が「Aちゃん、Cちゃん嫌みたいよ」と声をかけても素知らぬ顔をする。するとテラスに出てきて傍にいた、DやEも「Aちゃん、あぶないよ」と声を出した。Aは「あー」と叫び「わかっているよ。もういわないで」のような意味の叫びだった。今週Aは、疲れている姿がよくみられたので仲の良いEを中心に室内で少人数で過ごすことが多かった。AはEと遊びたいが、Aがちよっかいを出してくることも多く、Eは、じっくり遊びたいこともあり他のお友達と遊ぶことが見られ始めてきた。（そのような背景もあり）Eの言葉には、耳を傾けている様子がその後、見られた。

1歳児クラスの遊びの場面です。0歳児クラスから一緒に過ごしていることもあり、お友達の特性や個性をわかり始めているようです。まだまだ、「自分が一番！」とそれぞれの子どもたちが自分中心の世界を生きていますが、「自分が」嫌な気持ちや不愉快にならないように考えて遊ぶことができるようになってきていることに成長を感じます。嫌なことを回避する能力とでも言えるでしょう。その反対に、やさしいCや保育者には、「自分が一番」「自分のやりたいこと」をどこかで受け止めてもらえるという安心感があったのかもしれない。きっともう少ししたら、今度は「他のお友達」が嫌な気持ちになったりしないように考えて遊べる日が来ると思います。さて、この日誌から短い遊びの中で、Aの心の動きや感情が豊かに育っていること、集団の中で育つ良さその中で、社会性をはぐくんでいることがうかがえます。1歳児であるにも関わらず、おとな顔負けの複雑な人間関係ですね。

子どもは 自然あそびの天才！

今日は八名川公園へ散歩に行った。花壇のそばにレンガが一つ置いてあり、子どもたちはレンガの上に、具材に見立てた草や砂利、小枝等をのせた。いっばいに乗せ終わると、今度は十分に長さのある枝を持って来て、その枝でさっきのレンガをつつき始めた。「バーベキューやるよ！」の声で子どもたちがさらに集まってきて、本当にバーベキューをしているような光景が広がった。さらにその横では、長く緩やかに曲がった枝を持って魚釣りも始まった。

今日の子どもたちの姿を見て、遊具や道具がなくても、自然物だけでここまで遊べるということに改めて驚かされた。自然に触れる経験をたくさんすることで、遊ぶ力がつくと思うので、これからも散歩先で自然の中で遊び時間を大切にしていきたい。

3歳ちゅうりっぷ組のお散歩の様子です。子どもたちは、公園で見つけた枝や草を上手に使って、想像を膨らませ友だちとイメージを合わせながらあそんでいます。散歩先の八名川公園には、大きなアスレチック遊具やブランコもあるのですが、この日の子どもたちには、公園の自然物の方が魅力的だったのかもしれません。バーベキューから魚釣りへと、子どもたちの想像の世界がどんどん広がっていく様子が、とても面白いですね。先日、年長さんたちはとても寒い中木場公園に行き、広場にできた霜柱を使って、たくさんあそんで帰って来ました。子どもたちからは「大きい霜柱があったよ」「冷たかったけど楽しかったー」という声が聞かれ、寒さや冷たさも超える楽しさを感じたようでした。



子どもたちは、自然物を通して感触や温度、大きさや重さなどを体験し、五感を始めとする身体機能を成長させていきます(※保育所保育指針・幼稚園教育要領の「幼児期までに育って欲しい姿」の中に自然との関わり・生命尊重という項目があります)。また、自由な想像力で様々なものに見立てること(見立てる＝他のものだを見る→子どもたちが具材や釣り竿にしていたように)イメージの世界を楽しむことや、偶然の出会いや季節を感じられるのも自然物の良さではないでしょうか。お休みの日、施設やテーマパークのような決まった楽しみが待つ場所に行くのもよいですが、ぜひ近くの公園にもあそびに行ってみて下さい。いつもの公園の中にも、たくさん
の楽しい自然物との出会いが待っていると思いますよ！

